

会 議 記 録 (1)

会議名称	北本市幼児問題審議会（第4回）
開会及び閉会日時	平成23年11月18日（金）午前10時00～午前11時30分
開催場所	文化センター 第1研修室
議長氏名	鈴木 眞理子
出席委員（者）氏名	鈴木 眞理子・諏訪 千加子・阪井 栄見子・有田 めぐみ 関野 重信・木村 嶺子・荒樋 美智子・柳沢 さつき
欠席委員（者）氏名	佐藤 正史・鈴木 恵里子・由井 真奈美
説明者の職氏名	こども課長 加藤 啓一
事務局職員職氏名	保健福祉部長 谷澤 暢・こども課長 加藤 啓一 こども課保育担当主幹 鎌田 謙・こども課保育担当 森 美子
会議次第	1. 開会 2. あいさつ 3. 議題 （1）中央保育所の整備について （2）その他 4. 閉会
配布資料	1. 第3回幼児問題審議会まとめ

会 議 記 録 (2)

発言者	発 言 内 容
議長	<p>1 〔 開 会 〕 2 〔 あいさつ 〕 3 〔 議 題 〕</p> <p>それでは、議題に入らせていただきます。 前回の審議会で委員の皆さんより色々な意見が出されましたが、その意見や課題を事務局より資料のとおり包括的にまとめていただきましたが、いかがでしょうか。</p>
木村委員	<p>今まで、市側から提供された資料の他に、北本市の保育について私立保育園協会としてまとめたものを資料として用意してきたのですが、委員の皆さんに配布させていただいてもよろしいでしょうか。</p>
諏訪委員	<p>今まで提供された市側の資料とは違うということでしょうか。</p>
木村委員	<p>もっと、北本の保育行政についてまとめたものを作りました。</p>
議長	<p>それでは、木村委員が用意された資料につきまして、配布してよいと思われる方は挙手をお願いします。</p> <p>〔 挙手多数 〕</p>
議長	<p>それでは、挙手が多かったですので配布してください。また、木村委員はこの資料を配布することについて委員の皆さんに伝えておきたいことがあると思いますので、説明をお願いします。</p>
木村委員	<p>以前から話していますが、平成15年に市議会と市長において北本市の保育の方向性が決まりました。それにより、ひまわり保育園とスマイル保育園が整備され、平成22年には認定こども園が2園整備され、平成23年にもさらにもう1園整備されました。公立保育所としては統合して2ヶ所にするとのことでしたが、緑の詩保育園が開園されたのですから公立保育所は2ヶ所も</p>

	<p>必要ありません。現在でも、280名の空きがあり、その他に本 当であれば定員の125%まで入所させることができるのですか ら合計すれば350名から360名入れるはずなのです。皆さん の税金をたくさん使って整備するのであればその分を他の子育て 支援や民間保育園、市民の為に利用していただきたいと思いま す。この審議会です正しい方向付けをしていただきたいと思いま す。</p>
議長	<p>木村委員の説明につきましてご意見はありますでしょうか。</p>
阪井委員	<p>この資料の中にあります要望書につきまして、すでに市へは 提出されているのですか。</p>
木村委員	<p>はい。提出しています。</p>
阪井委員	<p>いつの時点で提出をされたのですか。</p>
木村委員	<p>要望書につきましては、毎年2回提出しています。</p>
議長	<p>公立保育所について税金を使って整備することについての課題 も、事務局より出された資料の中に盛り込まれています。 民間と公立の格差については、北本だけでなくどの自治体でも 同じような傾向にあります。 資料以外でもご意見はありますか。</p>
関野委員	<p>私立保育園協会の要望ということで、公立保育所については中 核保育所1ヶ所にして欲しいということですが、私も民間保育園 にはだいぶ、空きがありますし公立においても95名分くらいの 空きがあるということです。中央保育所の建替えについて議論さ れていますが、そもそも子どもの数の減少は目に見えています。 そうであるならば、公立保育所を減らして民間を大いに活用して 欲しいです。中核保育所もできますので今までの4園体制を減ら して欲しいです。</p>
議長	<p>新たに整備をする必要がないという要望でしょうか。前回の意 見でもありましたが、公立保育所が1ヶ所となりますと線路をま たぐこととなりますので利用者には不利益が生じることになる</p>

	<p>思われます。</p>
荒樋委員	<p>私立保育園協会の資料について、職員の待遇や賃金格差については聞いたことはありましたが、詳細については知りませんでした。この資料を見させていただくと、民間保育園に入っているお子さんに対して手厚く保育することはできないのではないのでしょうか。公立保育所については、すぐに統廃合するというのではなく、母子家庭や父子家庭、低所得の家庭や非正規雇用の方などいます。公立保育所がなくなり、今まで同様に民間保育園で保育料の他に延長保育料等を払ったりすると、今よりももっと金銭的な負担が大きくなると思います。園によっては、制服代や絵本代、道具箱代など公立よりは負担になります。そういうことも十分に考えた上で公立保育所利用者にも説明が必要になってくると思います。</p>
議長	<p>公立保育所の役割があるということですね。</p>
木村委員	<p>教材代などは全て保育料に含まれていますので、ほとんどとっていません。とっているとすれば、幼稚園です。認定こども園などは制服代などかかるとは聞いています。</p>
阪井委員	<p>少し長期的に、近い将来としてですが市側に考えていただきたい点をいくつかあげさせていただきたいと思います。</p> <p>まず、利用される人も施設についてもどんどんと変化していきます。スピーディーに保護者のニーズを把握していただきたいと思います。保育所を利用される適齢期の方にアンケートをとっていただいたりすると、今までは見えてこなかった本当は働きたいが、働くことができない方など、どういう条件が必要なのかなどが見えてくるとと思います。他市町村よりも、きめ細やかに調べれば少子化になったとしてもニーズは増えてくると思います。今後、市として公立の保育所を運営していくことも、民間に委託していくという方向を検討することも必要だと思います。しかし、多くの費用がかかる場合など、民間で受けきれないものを公立保育所が受けていくことも大切です。保育に対する展開を市がおこなっていく必要があります。その展望を行政サイドで掌握して欲しいです。そうすれば、方向性が示せるのではないのでしょうか。</p>

鈴木委員	他にご意見ありますでしょうか。
柳沢委員	色々と、意見はあると思いますので話し合いで決まれば良いですが、近い将来を見据えて今方向性を決めたとしても、先に動向が変わってしまったからといって直すことは難しいですので、折り合いをつけて考えることが大切だと思います。
諏訪委員	<p>阪井委員の意見にもありましたが、充足率が下がっているという状況ですが、私立保育園に空きがありながら公立保育所を希望する人がいるということは、公立のニーズがあるということなのではないでしょうか。</p> <p>しかし、子どもは減少しているのに定員は増えているというのはなぜでしょうか。もちろん費用等の面からみても民間の良さはあると思います。子どもが減っているのに、無駄な経費は公立、民間共に使いたくはないはずです。その中で、本当に何が必要なのかを聞くことがとても大切だと思います。</p>
関野委員	諏訪委員の話にもありましたが、確かに保育所自体は必要だと思います。中核保育所は120名定員と立派に整備されています。その他は、民間の施設を大いに活用して欲しいです。そうすれば、人件費はかかりません。今ある4ヶ所を減らしていく方向を考えていただきたいです。
諏訪委員	公立保育所がいない、ということではありません。統合して減らしていくのは必要だと思っています。やはり公立としては市内にバランスよく配置しておいた方が保護者には便利だと思われます。前回の意見の中で、中央と栄の統合とあったのを見て、東側にはあって西側にないのは確かに厳しいと思います。民間は大いに活用して欲しいとも思います。
木村委員	今、中核保育所を作っているのですから公立保育所がゼロにはなりません。民間と公立の違いは補助金と人です。預かってもらう側にはそこが公立の魅力です。今の時点では競争することができません。
議長	それは、委員の皆さんも理解しています。

木村委員	保護者にはメリットがあるので選んでいるのです。先ほど保育料についての話がありましたが、民間と公立では同額です。民間が高いということはおかしいです。どの園も教材費としては徴収していないと思います。
議長	公立の保育士さんは公務員なので、人件費の格差はあると思います。
諏訪委員	預ける側は、保育料は公立でも民間でも同じということは知っていましたが、日常の利用料等の差はないということでしょうか。
荒樋委員	私立保育園協会よりの資料の中に公立保育所の駐車場代の補助とありますが、それはどういう意味なのでしょう。現在、深井保育所以外の公立保育所に関しては、駐車場を利用する保護者は駐車場代を負担しています。
関野委員	いくらくらい徴収しているのですか。
荒樋委員	園により差はありますが、だいたい年間で3,500円くらいだと思います。
議長	それは利用される方だけが負担しているということですよ。車を利用される方は、借上げをしているということでしょうから、それを税金で賄うわけにはいかないことは理解できます。
荒樋委員	その他に、遠足代金の補助とありますが、これについても私は払っています。
議長	一部を保護者が負担しているということでしょうか。
事務局	駐車場についてですが、公立4ヶ所のうち3ヶ所は駐車場として父母会で借上げをしています。敷地内に駐車スペースがないため、費用の負担もしてもらっています。
議長	人件費の違いにおいて保育の質も違うということもあるとは思いますが。

<p>阪井委員</p>	<p>もう審議会も4回目ですのである程度の方向付けは必要だと思われま。深井保育所の閉所問題で学んだことは、急激な変化については対応しづらいということです。保育所を利用している保護者の方にとっては、毎日の生活の場なので公立の4園、例えば栄と中央の統合がされるとなると、深井保育所は古い建物を利用していますが、近い将来を見据えても危険です。方向性としては、時間をかけながら閉所ということになるとは思いますが、中核が東側にあるとなると、もうひとつ西側にも公立保育所が必要だと思。民間ではお金がかかってできないものを公立でやっていただく必要があります。</p> <p>耐震化等が考えられる中、民間と条件を合わせながら、市の責任において西側にも残していただければ公民共に存続できると思。います。</p>
<p>議長</p>	<p>それは将来的ということですよ。</p>
<p>木村委員</p>	<p>急には無理です。6年計画くらいになるのではないですか。</p>
<p>阪井委員</p>	<p>減らしていく方向ではあると思。いますが、公立を民間へ指定管理者として委託する可能性もあると思。います。</p>
<p>荒樋委員</p>	<p>公立の保護者の立場として言えば、4園は残して欲しいですが、いただいた資料等の内容を考えますと閉鎖や統合となった場合に、0歳や1歳で入所したお子さんが卒園できるまでの時間と保護者に対しての十分な説明をかけていただ。きたいと思。います。</p>
<p>関野委員</p>	<p>それは絶対に必要だと思。います。</p>
<p>木村委員</p>	<p>もともと、保育所整備については受け皿がないということで方向性。がつけられてきました。国の動きの中で、待機児童が多いために特区としてひまわり保育園とスマイル保育園が整備され、また国の動きの中で、認定こども園としてみなみの森保育園とスマイル保育園が整備され、緑の詩保育園については整備されることがわかりませんでした。緑の詩保育園が整備されるのであれば、中核保育所は必要ありませんでした。市としては、緑の詩保育園についても補助金を出して整備しています。税金の無駄遣いで</p>

議長	<p>す。施設は作るのにも、維持するのにもお金がかかります。もつと税金を市民のために使って欲しいです。中核を作るのであれば、緑の詩保育園の整備は断れば良かったと思います。</p> <p>公立保育所がどうこうというよりも、市として見通しなく認定こども園を整備してきてしまったということですね。</p>
阪井委員	<p>中核保育所の整備にあたっては、深井保育所が老朽化しているので中核保育所に統合ということが、意見として多かったのですが、深井保育所へ入所するために保育所の近くに家を建てたりした方もいました。深井保育所近くから中核保育所までの距離が通いきれない方も、近くに緑の詩保育園が整備されれば、と市は計画しました。しかしながら、深井保育所から閉所に対する反対運動が起こり、そのまま存続することになりました。よくニーズ調査をして、長い時間をかけて利用者の方に納得していただくのが大切だと思います。そのような経過でよろしいですよ。</p>
事務局	<p>その通りだったと認識しています。今後、同じ様にならないように中央保育所の整備については、幼児問題審議会に答申をいただき方向性を決めていきたいと考えました。</p>
議長	<p>市や議会など行政は、なかなか閉所などを決めることは難しいと思います。そのため、こういう審議会の場合などで強く意見を出さないと困難です。</p>
荒樋委員	<p>4園が存続することが希望ですが、すぐに閉所とされてしまうのは困ります。深井保育所のようにならない為に、現利用者も話し合いの場にも呼んでもらいたいです。この場で、保育所の利用者が私しかいないことに不公平さを感じています。公立と同様に民間保育園の保護者も意見があると思いますし、民間保育園長がいるように公立保育所の所長クラスの出席もして欲しいです。保育については、私は専門的に勉強しているわけではありませんのでわかりません。木村委員や関野委員は現役として接している側ですので、よく分かっているとおもいますが、公平に話し合うのであれば公立保育所の所長も入れて欲しいです。</p> <p>どうしても、閉鎖や統合ということであれば、5～6年の時間をかけて欲しいです。もし他の園へ移るということであれば、費</p>

	用面を含めてどの位変わるのかを伝えて欲しいと思います。
議長	もし、民間の保護者が委員となると色々と公立との差について言われるのではないのでしょうか。
荒樋委員	それは、分かっています。同じ保護者の立場として意見が聞きたいです。
議長	公立の保育所長については、市側の立場になりますので、委員として出席することはできないと思います。
木村委員	委員については、事務局の選び方が間違いだったということですよ。
荒樋委員	幼児問題審議会規則にある関係団体の代表者4名ということを変えない限りは無理ということですよ。見直すとしても時間がかかってしまうと思います。
議長	その4名の内訳については、メンバーを変えることも可能だと思いますが、人数を5, 6名に増やすということは困難だと思います。
有田委員	4回の審議会を通じて、色々な意見を聞かせていただき感じることがありました。統合するにしても、お母さん達も色々な説明を聞けばただ反対するだけではないと思います。 公立保育所については、公立の役割があると思いますので、縮小して2園にするのが良いと思います。東側に中核、西にもあった方が良いでしょう。
議長	ニーズ調査とありましたが、働きたい方にとっては、乳児保育が要望されると思います。ただし、それを公立保育所で行うとコストがかかることになります。
木村委員	民間保育園としては、やれないことはありません。やることにより赤字になるだけなのです。補助金が出ないから、できないのです。時間外保育も一時保育も今まで行ってきましたが、補助金がないのでできないのです。市は人件費で2倍以上使っているの

	<p>です。民間は、やれと言われれば頑張るので民間にまかせてください。</p>
議長	<p>住民の方が動かないと行政は動けないのです。若いお母さんのニーズなど、柳沢委員は聞いていたりしますか。</p>
柳沢委員	<p>若いお母さんも一般的には働く時代になっていると思います。0歳～5歳の人口は減っているということですが、それなのになぜ、0歳児については増やしていくということなのでしょう。ニーズと今後の動向がわからないのであまり言えませんが、人数の多さの割合などで一概には言えませんが、公立保育所は東西に1ヶ所ずつ必要だと思います。障がいなど、細かい配慮が必要なこともあるでしょうから縮小して公立は設置し、後は民間にまかせるのが良いと思います。</p>
阪井委員	<p>公立と民間の充足率に3%の違いがありますが、これを同じくらいに合わせることは、市として可能なのですか。</p>
事務局	<p>保育所の入所については、保護者の希望で受付を行い、選考委員に諮られることとなります。勤務時間や家庭状況により優先度が決まってきます。点数と保護者の意向により選考されることとなりますので、入所率を平均的にもっていくということは難しいです。</p>
議長	<p>保育所への申込みにおいて倍率の高い年齢児とか、以前にニーズ調査をしたことがありますか。</p>
事務局	<p>北本市では、次世代行動計画があります。市議会でも答えておりますが、保育所における低年齢児の需要は大きいです。</p>
議長	<p>倍率については、いかがですか。</p>
事務局	<p>11月より新年度の保育所の申込み案内を始めました。これから申込みしていただきます。毎月の申込みの際も、定員の空きがある園については伝えています。</p> <p>倍率としては、とらえていません。</p>

議長	入所できなかった方は、就労を諦めているのか、それとも認可外の保育施設等を利用しているのかなどは、把握しているのでしょうか。
事務局	そのまま、待たれている方もいらっしゃいますし、希望していただく園を増やされる方もいます。
議長	北本市内には、認可外保育施設もありますか。
事務局	はい、1ヶ所あります。
木村委員	入所に関しては、本人の希望もありますが、希望しても通らなかった方もいます。入所選考委員にも、民間より2名入れて欲しいです。
議長	入所選考委員につきましては、ここでの内容はありません。市の方で行っていただいているのですよね。
事務局	はい。市で責任をもって行っております。
議長	この審議会では、皆さんの意見を把握して答申の方向を出していきます。現在、皆さんから出された意見としますと、中央保育所においては施設が老朽化して建替えの必要があり、公立保育所においては、線路をまたいで西側と東側に必要だと思われま。定員については、だんだんと縮小し、統合も考えられます。その他に、細かい意見もありましたが、それらも含めて事務局にまとめていただくということで、良いでしょうか。
木村委員	中央保育所の建替えということですが、現在でも280名の空きがあるのです。中央保育所の建替えはやめて欲しいです。
議長	木村委員と関野委員は、中央保育所の整備については必要ないということ伺っています。
荒樋委員	私は、ぎりぎり譲れるところは統合して新しいところで建替えを行うということです。定員については減らさないで欲しいです。整備自体をなくす、ということは考えられません。

<p>議長</p>	<p>意見があつたことは盛り込みます。定員削減についても盛り込むことになりまますし、0歳児から2歳児までの特化した保育もあり得ると思います。定員の数については、考慮していきたいです。細かい内容につきましては、次回に事務局より提示してもらいます。</p> <p>今までの議論をふまえ、次回第5回の審議会において示せるよう、答申の素案を事務局に作成を依頼します。</p>
<p>事務局</p>	<p>承りました。</p>
<p>議長</p>	<p>本日の議題については、ここで終わりとなります。その他に、事務局より何かありますか。</p> <p>[次回の日程調整]</p> <p>[終了]</p>
<p>議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。</p> <p>平成23年 11月 20日 委員長(会長) </p>	